



平成 19 年 12 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ イ ツ ー
 代表者の役職名 代表取締役社長 大橋 康宏
 (J A S D A Q ・ コ ー ド 7 6 1 0)
 問い合わせ先 取締役 C F O 片山 靖浩
 電 話 番 号 0 3 - 5 4 0 8 - 5 5 3 2

平成 20 年 2 月期 11 月度の概況についてのお知らせ

平成 20 年 2 月期 11 月度の概況を、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 単体売上高速報

(百万円)

	3月	4月	5月	1Q	6月	7月	8月	2Q	上半期	
売上高	3,819	3,613	3,104	10,536	2,995	3,419	3,186	9,601	20,137	
対前年同月増減率(実質)	10.9%	17.7%	8.8%	12.5%	18.8%	11.5%	4.6%	11.2%	11.9%	
対前年同月増減率(名目)	7.8%	13.9%	4.2%	8.7%	13.8%	7.0%	-0.8%	6.2%	7.5%	
	9月	10月	11月	3Q	12月	1月	2月	4Q	下半期	年度累計
売上高	3,180	2,715	3,303	9,199						
対前年同月増減率	7.0%	1.1%	9.1%	5.9%						

- (注) ・ 平成 18 年 9 月 1 日に株式会社テイツーのアイ・カフェ事業部門を会社分割し、子会社の株式会社アイ・カフェに承継したため、上半期中については比較対象としている前年の単体売上高を以下のように区別しております。
- ・ 対前年同月増減率(実質)は、比較対象としている前年同月の単体売上高には、アイ・カフェ事業部門の売上高を控除した数字を使用しております。
 - ・ 対前年同月増減率(名目)は、比較対象としている前年同月の単体売上高には、アイ・カフェ事業部門の売上高を含めた数字を使用しております。

2. 事業セグメント別 既存店売上高速報(対前年同月増減率)

	3月	4月	5月	1Q	6月	7月	8月	2Q	上半期	
古本市場事業	7.1%	12.9%	6.9%	8.9%	14.9%	9.6%	0.6%	7.9%	8.5%	
アイ・カフェ事業	4.1%	5.4%	9.6%	7.2%	11.8%	7.4%	5.6%	7.9%	7.2%	
E C 事業	-9.5%	-4.9%	-4.8%	-6.4%	-5.7%	-5.2%	-0.7%	-3.9%	-5.2%	
(E C 売上)	4.1%	9.8%	9.7%	7.8%	6.5%	7.2%	14.7%	9.3%	8.5%	
(その他売上)	-89.1%	-88.8%	-88.7%	-88.9%	-91.4%	-87.5%	-87.9%	-88.9%	-88.9%	
	9月	10月	11月	3Q	12月	1月	2月	4Q	下半期	年度累計
古本市場事業	3.9%	-0.5%	7.9%	3.9%						
アイ・カフェ事業	6.5%	-3.0%	-4.3%	0.0%						
E C 事業	5.9%	-9.5%	-5.8%	-3.5%						
(E C 売上)	22.1%	5.8%	7.1%	11.3%						
(その他売上)	-86.9%	-90.2%	-88.4%	-88.6%						

- (注) ・ 事業セグメント別既存店売上高速報には連結対象子会社の売上高も含まれているため、上記 1. 単体売上高の対前年同月増減率とは連動いたしておりません。
- ・ アイ・カフェ事業は、連結対象子会社である(株)アイ・カフェの売上高の対前年同月増減率を記載しております。
 - ・ E C 事業は、連結対象子会社である(株)ユーブックの売上高の対前年同月増減率を記載しております。
 - ・ 既存店は、開店後 13 か月目からを既存店舗と定義しております。

3. 営業概況

11月度のテイツー単体売上高は、対前年同月比9.1%増の3,303百万円となりました。

古本市場事業につきましては、古本、中古ゲームの堅調な売上加え、新品ゲームハード並びに「Wiiスーパーマリオギャラクシー」、「DSドラゴンクエスト 導かれし者たち」、「PS3真・三国無双5」そしてPS2とPS3で同時発売された「ワールドサッカーウイニングイレブン2008」と新品ゲームソフトの売上が好調に推移し、新型ゲームハードPS3が発売された前年11月の売上を上回る好結果となり、既存店売上高は対前年同月比7.9%増となりました。

アイ・カフェ事業につきましては、フリードリンク、フリーフードをさらに充実させたほか、「接遇コンテスト」を実施し、スタッフのさらなる接客レベル向上に努めましたが、前期と比べ休日数が1日少なかった影響などにより、既存店売上高は対前年同月比4.3%減となりました。

EC事業につきましては、モバイル会員限定で完結コミック・セットを半額にて提供したほか、新品DVD販売に通常のポイントに加えてボーナスポイントをつけるなど販売強化に努めた結果、EC売上は対前年同月比7.1%増となりましたが、今年2月に行ったトナー事業の売却による影響により、EC事業売上高は対前年同月比5.8%減となりました。

4. 出退店の状況

	07/10 末店舗数	出店数	退店数	07/11 末店舗数
古本市場事業	117	0	0	116
(古本市場直営店)	(87)	(0)	(0)	(87)
(古本市場業務提携・FC店)	(26)	(0)	(1)	(25)
(ブック・スクウェア)	(4)	(0)	(0)	(4)
アイ・カフェ事業	32	0	0	32
(直営店)	(16)	(0)	(0)	(16)
(FC店)	(16)	(0)	(0)	(16)
合計	149	0	1	148

(注) 売上高は、公表日までのデータに基づいた速報ベースであり、修正される可能性があります。

また、監査法人による会計監査は受けておりません。

以上